

北九州高速鉄道株式会社

北九州高速鉄道株式会社

I 法人の概要（令和6年4月1日現在）

1 所在地

北九州市小倉南区企救丘二丁目13番1号

2 設立年月日

昭和51年7月31日

3 代表者

代表取締役社長 上田 浩（令和6年6月28日就任）

4 資本金

100,000千円

5 資本金のうち、北九州市の出資金

100,000千円（出資の割合 100.0%）

6 役職員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	6人	0人	3人	3人
常 勤	2人	0人	2人	0人
非常勤	4人	0人	1人	3人
職 員	135人	0人	0人	135人

7 市からのミッション

公共交通機関として重要な役割を担う北九州モノレールの安全・正確・快適な管理運営を行うとともに、経営を安定化させる。

II 令和5年度事業実績

北九州モノレール中期経営計画（2020-2024）の実行初年度から、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少した輸送人員は、コロナ禍においても中期経営計画の重点施策を着実に取り組んできたことに加え、社会・経済活動の正常化が進んだことが追い風となり、需要の回復が予想を上回った結果、前期と比較して大きく増加した。

営業収益は、輸送人員が予想を上回る回復を見せたことに伴い、運輸収入及びコインロッカー使用料収入が増加したことに加え、前期に新設した広告媒体の「小倉駅ビッグアドサイネージ」の売上増等により、前期を大きく上回った。

一方、営業費は、車両検査や電力ケーブル張替え等設備の維持修繕費の増加及び各種イベントの実施に伴う広告宣伝費の増加等により前期を上回った。

この結果、営業損益及び経常損益とも利益を計上し、加えて北九州市から地域公共交通運行支援金等が交付されたことから、当期純損益は大幅な利益を計上することができた。

Ⅲ 令和5年度決算

1 貸借対照表

令和6年3月31日現在 (単位:円)

資 産 の 部		負債及び純資産の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	6,719,140,715	(負債の部)	2,486,245,714
流動資産	4,140,624,431	流動負債	936,228,588
現金及び預金	3,706,233,848	1年以内返済予定の長期借入金	76,000,000
未収運賃	42,781,268	リース負債	153,369,230
未収金	140,489,573	未払金	507,810,623
貯蔵品	250,650,092	未払費用	7,400,367
前払費用	464,130	未払法人税等	4,932,000
未収還付法人税等	5,520	未払消費税等	23,346,000
		預り金	7,464,891
		前受運賃	85,844,256
		前受収益	26,154,601
		賞与引当金	43,906,620
固定資産	2,578,516,284	固定負債	1,550,017,126
軌道事業固定資産	2,296,236,474	長期借入金	692,000,000
建設仮勘定	223,000,000	リース負債	312,584,126
投資その他の資産	59,279,810	退職給付引当金	540,484,000
繰延税金資産	59,213,000	預り敷金	2,099,000
その他	66,810	預り保証金	2,850,000
		(純資産の部)	4,232,895,001
		資本金	100,000,000
		資本剰余金	9,771,521,775
		資本準備金	6,871,521,775
		その他資本剰余金	2,900,000,000
		利益剰余金	▲5,638,626,774
		その他利益剰余金	▲5,638,626,774
		繰越利益剰余金	▲5,638,626,774
資産合計	6,719,140,715	負債及び純資産合計	6,719,140,715

2 損益計算書

自 令和5年4月1日

至 令和6年3月31日 (単位:円)

科 目	決 算	額
経常損益の部		
(営業損益の部)		
軌道事業		
営業収益		
旅客運輸収入	2,037,360,906	
運輸雑収	484,284,202	2,521,645,108
営業費	2,030,785,743	2,030,785,743
軌道事業営業利益		490,859,365
(営業外損益の部)		
営業外収益		
受取利息	36,067	
雑収入	25,127,162	25,163,229
営業外費用		
支払利息	7,120,700	
雑支出	1,331	7,122,031
経常利益		508,900,563
特別損益の部		
特別利益		
補助金収入	77,463,475	
固定資産売却益	24,281	77,487,756
特別損失		
固定資産除却損	544,825	544,825
税引前当期純利益		585,843,494
法人税、住民税及び事業税	4,932,000	
法人税等調整額	59,213,000	▲54,281,000
当期純利益		640,124,494

IV 令和6年度事業計画

《令和6年度の事業計画概要》

今後予定している設備更新には莫大な資金が必要なことから設備更新方法と合わせ、その資金確保の方策について、外部有識者の意見も踏まえながら鋭意検討を行う。

加えて人財の確保についても、全国的な人手不足や人財獲得競争の激化等に迅速且つ柔軟に対応できる環境整備が急務と捉え、「計画的な採用」「人財育成」「正社員定年後の継続雇用率アップ」などに繋がる方策を進める。

中期経営計画（2020-2024）については、これまでの振り返りを行いながら、重点施策の目標達成に向け各種施策の確実な実行を推進する。

今後もお客さまの安全、正確、快適、利便性の向上を図るとともに、増収、利用促進策や経費削減策に着実に取り組み、企業としての発展に努める。

(1) 重点目標

- ① 輸送の安全と定時運行の確保
- ② お客さまの満足度向上
- ③ 輸送人員並びに収入増施策
- ④ コスト管理の徹底
- ⑤ 人財の育成
- ⑥ お客さまマナーの改善

(2) 主な事業

- ① 中期経営計画（2020-2024）の実行
- ② 沿線教育機関、事業体、他交通機関との連携強化
- ③ 沿線の魅力等情報発信の強化によるインバウンド等観光需要の取り込み
- ④ デジタル乗車券等の新商品開発
- ⑤ 駅構内や基地広場の更なる有効活用
- ⑥ コスト管理の徹底
- ⑦ 業務の見える化やDX化着手等による業務効率化
- ⑧ 特注機器の汎用化や設備の点検周期の見直し
- ⑨ 新技術導入や設備全体のスリム化等による設備更新方法及び効果的な資金確保策の方向性確定

V 令和6年度予算

予定損益計算書

自 令和6年4月1日

至 令和7年3月31日 (単位：千円)

科 目	予 算	額
経常損益の部		
(営業損益の部)		
軌道事業		
営業収益		
旅客運輸収入	2,042,107	
運輸雑収	445,592	2,487,699
営業費	2,324,761	2,324,761
軌道事業営業利益		162,938
(営業外損益の部)		
営業外収益	16,723	16,723
営業外費用	5,377	5,377
経常利益		174,284
特別損益の部		
特別損失		
固定資産除却損	1,249	1,249
税引前当期純利益		173,035
法人税、住民税及び事業税	5,000	5,000
当期純利益		168,035

VI 役員名簿等

1 役員名簿

令和6年7月1日現在

役職名	氏名	備考
代表取締役社長	上田 浩	
取締役	上村 周二	北九州市都市戦略局長〔兼任〕
取締役	中野 好生	(株)北九州輸入促進センター常勤監査役〔兼任〕
常勤監査役	小林 一彦	
監査役	吉峯 禎利	北九州市都市戦略局総務政策部長〔兼任〕
監査役	野中 宏之	(株)福岡銀行常務執行役員北九州代表兼本部長〔兼任〕

2 市との特命随意契約の状況（令和5年度実績）

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち外郭団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託 金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約の 場合その理由
北九州市モ ール小倉線軌道 敷等維持修繕 業務	270,144	当該業務は軌道敷そのものを扱う維持補修等工事であり、国の指導（軌道経営者が維持修繕を行う）により維持修繕は軌道経営者である同社が行うこととなっている。（また、事故等発生時の迅速な対応などの面からも同社が行うことが適当であり、さらに同社所有の工作車を使用することで経費削減につながる。）	昇降設備保守点検・修繕	111,529	日立ビルシステム、三菱電機ビルソリューションズ、東芝エレベータ、クワリフ、タイコ、日本チス・エレベータ、三精テクノロジーズ	随意契約 (特命)	昇降設備は、メーカーの設計、施工であり、メーカー独自の機器特性等に対応できなければならない。また、メーカーであれば下記に示す事項を充足している。 ①部品調達をメーカー自身が行うため、迅速、確実かつ安価 ②各メーカーの機器構造への最精通者は各メーカー技術者 ③メーカー独自の詳細図面を整理、所有 ④異常、緊急時の連絡体制の確立 ⑤責任所在の明確化
			エレベータ監視システム保守点検	660	セイコー電子	随意契約 (見積合わせ)	/
			企救丘駅エレベータ監視システムレコーダ取替修理	242			
			エレベータ監視システムレコーダ取替修繕	676			
			エレベータ監視システムモータ取替修繕	688			
			電気設備（信号設備 A-1・信号設備 A-2）保守点検	17,569	親和電設工業	随意契約 (特命)	過去2カ年における指名競争入札で、技術者の配置困難や、鉄道独自の技術的対応が困難等の理由により、請負業者以外の全業者が辞退したため。
			分岐器スイッチ取替工事	665			
			分岐器設備取替工事	1,536			
			T型軸ライナー追設補助作業（信号設備）	297			
			分岐器機器重要部取替分解修繕に伴う補助作業	297			
			分岐器電磁開閉器取替工事	157			
			走行面 FP 平板化補助作業	111			
			分岐器転換不良調査	153	随意契約 (見積合わせ)	/	

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち外郭団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託 金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約の 場合その理由
			分岐器機器重要部取替分解修繕	20,900	日立製作所	随意契約 (特命)	分岐器機器は日立製作所の設計、施工であるため、その基本的な性能に係わる部分の改良等の機器特性等に対応できるのは日立製作所しかない。また夜間の施工は、迅速性かつ正確性が求められるため新規業者の施工では施工箇所の不具合発生時の対応が迅速にできない。
			PC 軌道桁変状に伴う影響度調査	8,250			
			T 型軸ライナー追設・走行面 FP 平板化作業	6,050			
			分岐器設備分解修繕工事	936	JR 九州エンジニアリング	随意契約 (特命)	過去2カ年における指名競争入札で、技術者の配置困難や、鉄道独自の技術的対応が困難等の理由により、請負業者以外の全業者が辞退したため。
			カイト・シンター分解修繕工事	319			
			企救丘 22 号分岐器エア・ライナー修繕	139			
			軌道整正調査業務	253	タルミ	随意契約 (見積合わせ)	
			徳力嵐山口駅ホーム先端補修工事(下り線)	1,570			
			都市モノレール小倉線 PC 軌道桁動揺測定業務	1,354			
			支承廻り雨漏り補修工事	275	西部産業	随意契約 (見積合わせ)	
			連絡通路 EV 部雨漏り補修工事	89			
			駅舎雨漏り補修工事	209			
			P5 支柱マンホール補修工事	187			
			地上エスカレータ外壁塗装工事	77			
			軌道床防水補修工事	1,650			
			都市モノレール小倉線軌道検測業務委託	13,310	かんこう	随意契約 (特命)	軌道検測に精通し、国内で唯一の機械自動計測が可能な業者であるため。
			令和5年度都市モノレール小倉線 PC 軌道桁健全度評価業務	1,980	上晴	随意契約 (特命)	PC 桁の特性やASR状況の見識も十分で問題点にも精通しているため。
			スロープ点検工事	86	吉元工務店	随意契約 (見積合わせ)	
			北九州モノレール清掃委託業務	4,969	岡崎建工	指名競争入札	

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち外郭団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託 金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約の 場合その理由
			徳力公団前駅地上エスカレーター用排水ポンプ修繕工事	209	志徳電設工業	随意契約 (見積合わせ)	/
			連絡通路照明LED化工事	1,870			
			連絡通路雨漏り対策工事	231	竹本建設	随意契約 (見積合わせ)	
			志井駅ホーム階窓枠部塗装工事	480	村井塗装工業	随意契約 (見積合わせ)	
			企救丘駅ホーム点検扉補修	68	後藤金属商会	随意契約 (見積合わせ)	
			下り線ホーム先端一部撤去工事	220	福嶋建設	随意契約 (見積合わせ)	
			平和通駅階段腰壁他補修工事	297	中村建設	随意契約 (見積合わせ)	
			プラットホーム先端点検及び撤去工事	902	アカセ建設工業	随意契約 (見積合わせ)	
			ホーム屋根雨樋詰まり対策工事	1,007	ケーツ	随意契約 (見積合わせ)	
			駅舎雨漏りに伴う天井点検口取付工事	259	古村工務店	随意契約 (見積合わせ)	
			T型軸ワイヤ追設補助作業(電力設備)	1,045	日本電設工業	随意契約 (見積合わせ)	
			連絡通路天井補修工事	94	若佐建設	随意契約 (見積合わせ)	
			連絡通路床石補修工事	45			
			緊急工事	143	松本工業	随意契約 (見積合わせ)	
			EXP-J改修工事	770			
			駅舎下天井裏油除去その他工事	429			
昇降機ピット排水委託業務	265	角田油業	随意契約 (見積合わせ)				
昇降設備修繕業務委託	14,575		三萩野歩道橋昇降設備修繕工事	14,575	三菱電機ビルソリューションズ	随意契約 (特命)	<p>昇降設備は、メーカーの設計、施工であり、メーカー独自の機器特性等に対応できない。また、メーカーであれば下記に示す事項を充足している。</p> <p>①部品調達をメーカー自身が行うため、迅速、確実かつ安価</p> <p>②各メーカーの機器構造への最精通者は各メーカー技術者</p> <p>③メーカー独自の詳細図面を整理、所有</p> <p>④異常、緊急時の連絡体制の確立</p> <p>⑤責任所在の明確化</p>

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち外郭団体からの再委託の状況					
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の業務内容	委託金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約の場合その理由	
北九州モレール長寿命化計画に基づく工事の実施に係る監督管理の一部及びこれに付帯する業務の委託等	74,726	関係法令に基づき必要な業務を委託するもの ・地方自治法施行令第167条の2第1項第2号に該当。 ・軌道法・同運転規則第7条の2第1項	ギヤモーター更新工事（企救丘22号分岐器）	3,135	日立製作所	随意契約（特命）	分岐器機器は日立製作所の設計、施工であるため、その基本的な性能に係わる部分の改良などの機器特性等に対応できるのは日立製作所しかない。また夜間の施工は、迅速性かつ正確性が求められるため、新規業者の施工では施工箇所の不具合発生時の対応が迅速にできない。	
			ギヤモーター更新材料及びロックシリンダ取替材料購入	28,490				
			ギヤモーター更新に伴う付帯及びロックシリンダ取替作業	1,199				親和電設工業
			北九州モレールRC支柱緊急点検業務	770	トニコンコンサルタント	随意契約（特命）		緊急点検を行うにあたり、トニコンコンサルタントはモレールの基本設計から関わっており、長寿命化計画作成時の事務局も経験していることから、早急な対応が可能であるため。
			桁嵩上げに伴うATC/TDループ線レベル測定	512	福岡日信電子	随意契約（見積合わせ）		
			電車線偏位調整工事	836	日本電設工業	随意契約（見積合わせ）		
			守恒徳力公園前間RC支柱緊急補修工事	1,990	関門エンジニアリング	随意契約（見積合わせ）		
			令和5年度北九州モレールPC桁嵩上部緊急補修工事	495	豊田建設	随意契約（見積合わせ）		PC桁嵩上げ部補修工事を現在請負っており、本工事についても同様の施工内容であることから、材料特性に熟知しており、材料調達及び施工について、即時対応が可能であるため。
			令和5年度北九州モレールPC桁嵩上部補修工事	1,210				
			令和5年度北九州モレールPC桁嵩上部緊急補修工事（その2）	4,180				
令和5年度北九州モレールPC桁嵩上部補修工事（その2）	17,600							

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち外郭団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託 金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約の 場合その理由
北九州モノレールラッピング列車広告掲出業務（市制60周年）	2,200	・モノレールのラッピング及び運行は北九州高速鉄道(株)でのみ実施可能であるため。	—	0	—	—	—
9面マルチ液晶ビジョン運用・保守管理業務	2,445	・9面マルチビジョンの運用保守システムがモノレール小倉駅内に設置されており、北九州高速鉄道(株)が設置するストリートサインージと連動した広告掲出も含め、他に実施できるものがいないため。	—	0	—	—	—
合 計	364,090		合 計	280,509			